

大阪時代―二 大阪民俗談話会の頃



柳田國男 初対面は昭和9年10月、京都の石田旅館にて。宮本27歳、柳田59歳。〔甚だ感激する。お話を承ること四時間。〕



沢田四郎作 明治32年生まれ。大阪玉出で小児科を開業しつつ、大阪民俗談話会、近畿民俗学会の中心的人物であった。



昭和10年(1935)12月20日、玉田アサ子と結婚。28歳



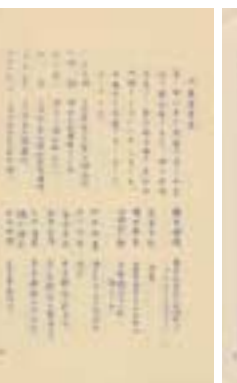
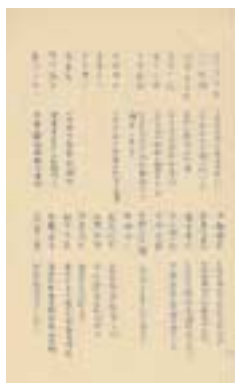
〔旅と伝説〕と同じく柳田に投稿をすすめられる。昭和7年3月発行、第8巻第1号より投稿

柳田國男に投稿をすすめられ、昭和5年(1930)新年特別号より投稿をはじめ。宮本常一の原稿が初めて活字となる。



仲間と出版したが版刷りの雑誌。第1号は昭和9年(1934)9月25日より隔月発行。〔編集印刷兼発行者宮本常一〕とある。

〔郷土和泉〕には昭和8年6月、第11号より投稿。編集兼発行は小谷方明。



第1回民俗談話会は昭和9年12月16日に開かれた。以後、筆録と編集を宮本が担当した。